

1995年福井県鯖江市で記録された ホンドモモンガの幼獣*

大迫義人¹

ホンドモモンガ *Pteromys momonga* は、日本固有種で、本州、四国、九州に分布し、山地帯から亜高山帯の森林に生息する(阿部 1994)。そして、生息状況や生態について不明な点が多いことより環境庁指定の希少種にリストされている(環境庁自然保護局野生生物課 1991)。福井県においても大野市と大野郡和泉村での記録しかなく、生息情報の少ない種である(東谷 1966, 福井県 1982, 松村1995)。今回、福井県鯖江市の山林で伐り出された木より3頭の幼獣を保護し、生息地の環境と繁殖状況について知見が得られたので報告する。

福井県木材市売協同組合の職員には、保護にあたり便宜を図っていただき、武生市の宇都宮豊一氏には生息地を案内していただいた。また、帯広畜産大学の柳川久氏には本種の生態および関連文献について教示していただいた。そして、福井県林政課の谷口明里さんには一時保護と計測をしていただいた。記して感謝する。

1. 保護の経緯

1995年11月21日、福井県福井市にある福井県木材市売協同組合で、当日、鯖江市の山林から搬入されたスギ *Cryptomeria japonica* の樹洞から、本種の巣と計3頭の幼獣が発見された(写真1)。福井県自然保護センターによって一時的に保護されたが、3日後、帯広畜産大学へ移管され、保護・飼育が継続されている。

2. 生息地

巣のあったスギの伐り出し地は、福井県鯖江市上戸口町のスギの植林地(35° 58' 30" N, 136° 15' 30" E)で、140mの標高であった。主な植生は、高木としてスギ(20~150年齢)、ヒノキ *Chamaecyparis obtusa*, シラカシ *Quercus glauca* などと、低木としてシロダモ *Neolitsea sericea*, ユキバツバキ *Camellia japonica* var. *intermedia*, アブラチャン *Parabenzoin praecox*, ヤマモミジ *Acer palmatum*, ムラサキシキブ *Callicarpa japonica*, ハナイカダ *Helwingia japonica*, アオキ *Aucuba japonica*, ツルグミ *Elaeagnus glabra*, アケビ *Akebia quinata* などであった。また、近くにはコナラ *Quercus serrata*, ケヤキ *Zelkova serrata*, カキ *Diospyros kaki* などの木もあった。

本種の生息地は、岐阜県では標高350~2,000mの落葉広葉樹林帯(岐阜県哺乳動物調査研究会 1984)、そして福井県では標高800~1,000mのブナ林帯であったが(松村 1995)、今

* 福井県自然保護センター研究業績 第41号

1. 福井県自然保護センター. 〒912-01 福井県大野市南六呂師169-11-2



写真1．1995年11月21日に，福井市の木材市場で保護されたホンドモモンガ．
Photo 1. Small Japanese Flying Squirrels protected at the lumberyard in Fukui
City on 21 November 1995.

回のように低山帯でしかも人工林であったことは注目に値する．

3. 巣の位置と材料

巣のあったスギは樹齢140～150年，樹高約35m，胸高直径79cmで，過去に落雷によってできたうろが存在していた．巣穴は，縦8.3cm，横3.3cmで，地上約5.5m，直径59cmの幹に開いており（写真2），巣は，巣穴から44cm下がったうろの底にあった．発見時，巣はその形態を留めていなかったので大きさを計測できなかった．巣材として長さ平均 102 ± 51 (SD)mm，中央幅平均 0.7 ± 0.6 (SD)mm（n=100）の細かくさかれたスギの樹皮が使



写真2．スギの樹皮の裂け目にあったホンドモモンガの巣穴．
Photo 2. A nest hole of Small Japanese Flying Squirrels on Japanese Cedar.

われていた（写真1）。

福井県では、ツガの枝での営巣が記録されているが（松村 1995），今回の例は，岐阜県での観察と同じで，スギの樹洞に営巣されスギの樹皮が巣材として使われていた（田口 1995）。

4. 出産時期

本種の成獣は，その頭胴長が14～20cm，尾長が10～14cm，体重が150～220gであるが（阿部 1994），今回保護された3個体は，それらの計測値がすべて小さいことより幼獣であった（表1）。また，保護された時に，巣の中にいたこと，3頭のうち1頭はまだ開眼していなかったこと，および人工乳を受乳したことより保育時期であったと考えられる。

表1. 保護されたホンドモモンガの性と計測値（1995年11月23日計測）。

Table 1. Sex and measurements of the protected Small Japanese Flying Squirrels (measured on 23 November 1995).

個体 Individual	性 Sex	全長 Total(mm)	尾長 Tail(mm)	後足長 Hind Foot(mm)	耳長 Ear(mm)	体重 Weight(g)
No. 1		222	104	38.5	17.0	65
No. 2*		214	106	36.0	16.5	60
No. 3		213	98	37.0	17.0	63

* 1995年11月23日に開眼した。

本種に近縁のエゾモモンガ *Pteromys volans orii* は生後35日前後で開眼することから（柳川 1992），今回，保護されたホンドモモンガも同様の日齢であると推定され，出産時期は10月16日前後と考えられる。岐阜県において1978年5月に幼獣1個体，1989年3月2日に巣内にいた3個体の幼獣が保護された例があり（前田 1990），福井県では，3～5月にも出産時期があるとすれば，年2回繁殖していると推定される。しかし，さらに多くの情報が必要である。

引用文献

- 阿部永（監）．1994．日本の哺乳類．195pp．東海大学出版会，東京．
福井県．1982．福井県の鳥獣．240pp．福井県．
岐阜県哺乳動物調査研究会．1984．岐阜県における哺乳類の生息状況とその環境調査及び環境教育にかかわる研究．284pp．岐阜県哺乳動物調査研究会．
東谷薫．1966．福井県の哺乳類と鳥類．福井県の生物，pp. 65-76．福井県教育研究会理科部会．
環境庁自然保護局野生生物課．1991．日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-（脊椎動物編）．331pp．日本野生生物研究センター，東京．
前田喜四雄．1990．岐阜県下の哺乳動物情報 61 モモンガとムササビ．岐阜ふるさとと動

物 通信 第37号:596.

松村俊幸. 1995. 福井県におけるホンシュウモモンガの生息状況. *Ciconia* 4:65-69.

田口五弘. 1995. 萩原町岐大位山演習林地区の調査報告及びネズミ類計測値. 岐阜ふるさと動物 通信 第62号:999-1,001.

柳川久. 1992. 週間朝日百科 動物たちの地球 哺乳類 :269, 朝日新聞社, 東京.

A record of the Small Japanese Flying Squirrel in Sabae City, Fukui, 1995

Yoshito Ohsako¹

A nest and young of Small Japanese Flying Squirrels *Pteromys momonga* were found in a hole in a tree of the Japanese Cedar in Fukui City, Fukui on 21 November, 1995. The tree was carried from the mountainous area (35° 58'30"N, 136° 15'30"E, Elev. 140m) in Kamitonokuchi Town, Sabae City. The habitat was a plantation area of Japanese Ceders. The nest hole was 5.5m high and the nest was located 44cm below the hole. Teared barks (102 ± 51(SD)mm in length, 0.7 ± 0.6(SD)mm in width on average) of the Japanese Cedar were used for nest material. The protected squirrels were sucklings which were estimated to be born around 16 October. This suggests that the species has two breeding seasons in Fukui. The Small Japanese Flying Squirrel has been registered as rare species by Environment Agency, so that the status of the species should be monitored in Fukui.

1. Fukui Nature Conservation Center. Minamirokuroshi 169-11-2, Ono-shi, Fukui 912-01